

求セル件既報、其、後、全組合支部聯合名義ヲ以テ左記「菱水田造船所職工諸君ニ激す」ト題スル印刷物約五百枚ヲ作成シ昨七日本工場及敷津分工場職工ノ入退時間ヲ利用シ配布シタルカ各職工ハ前記四名ノ運動方法ニ好意ヲ寄スルモノ尠キ模様ナリ又会社側ニテハ既定方針ニ基キ態度ヲ変更セサル意嚮ナクト謂フモ争議職工等ハ最早通常方法ニ依リテハ解決ノ見込ナキヲ察知シ今後如何ナル手段ヲ執ルヤモ計リ難クニ付引續キ注意中
右 及 申 (通) 報 候 也

記

「菱水田は職工に死ぬと云ふ」
不肖解雇に反對せよ

菱水田造船所正月を目前に控へた今日ニテ四名ノ人を解雇した其の中には希望に依つて解

雇はらうたものもあるが大要取は会社の存続に重理夫程に首を切り出たつた 外に解雇を希望する者もあるにも抱らす單に会社より都合の事業の整理」三位の重理夫程に首を切るとも志願した者も重理に切つた者も今し手当の突放しをみるのは何のわけもなくはからふ即ち此等の人々は今迄ハツキリ工場主に對抗して職工の利益を爲すに戦つて来た故に此等の人を出して置くに今迄労働条件を改良しは悪く、今と企てみるのである聞ふ所に依れば会社は早速加給を撤廃しようかあとの相談してあるやうである諸君が黙つて居れば必ず将来現在より更に悪い労働条件の下で働かねばならず亦今日の人のやうに何れ会社の人身御供に上らぬものも物からあつた

一 夜夫業すれば減多に仕事はあつた
あつたものは飢餓と死の子

目を鬆して会社を眺めて見終へ日本全国で失業者の数は二百五十万と数へられぬものである 特は造船業の不況は甚だしい 岡山の玉造船所は先月三百人を解雇し大阪船二